



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2023年09月11日 第1133号「週刊五十嵐レポート」

V字回復

株式会社ダイヤモンド・ビッグ社は、5月19日に東京地裁より特別清算開始命令を受けた。同社は、1969年9月に設立。出版大手ダイヤモンド社の子会社として、旅行ガイドブックの編集・出版の受託制作を手がけ、『地球の歩き方』などを発行、旅行者の実用書として高い知名度を誇っていた。2001年9月期売上高約112億6500万円を計上。しかし、出版不況下で新型コロナウイルス感染拡大に伴う渡航制限の影響で、2020年3月期(決算期変更)売上高は約28億8500万円に落ち込み、その後も歯止めはかからず赤字に転落。2021年1月、出版事業は学研グループの株式会社地球の歩き方に譲渡。2023年3月31日、株主総会決議により解散。(帝国データバンクより)

コロナ禍を機に窮地に陥った「地球の歩き方」が驚異的な変革を遂げている。長年培った編集力と発想の転換が「V字回復」に結びつく。学研で海外戦略に携わった新井氏が社長に就任。眼にとまったのが事業譲渡前の「地球の歩き方東京」。国内ガイド本が競合が多い。だが、国内版に活路を見出す。京都、沖縄、北海道に続き、千葉、埼玉、多摩など絞った地域を出す。

本来、ガイド本は知らない土地を知るために買うものだが、「地球の歩き方」は「地元愛」で買われている。土地の歴史コラムやロコミを充実、地元を再発見する読者が多い。

学研のオカルト雑誌「ムー」との異色コラボ本、「地球の歩き方ムー」。ピラミッドやモアイ像、ネッシーなど未確認生物の伝説を歩き方の手法で追求。22年2月発売、計13万部が売れた。世界各国を旅しながら宿敵と闘う冒険漫画「ジョジョの奇妙な冒険」との「地球の歩き方ジョジョの奇妙な冒険」。物語を彩るグルメ情報、冒険のようなトラブル対処法、主人公の行程を参考にした旅行プラン。22年7月発売、計17万部の大ヒット。今秋には「地球の歩き方ディズニーの世界」が発売予定。地球の歩き方の名を冠にしたカレーやお菓子など商品開発も手掛けている。(朝日新聞「けいざい+」より)

「既存のノウハウ・知見」×「新たなモノ(コラボ)」＝「革新」になる。「地球の歩き方」が実践してくれた。40年来のユーザーとして、大変うれしい。

ちょっと
気になる出来事

9月6日付日経新聞、「地域発世界へ」は高山リード(石川県金沢市)。同社は、織機の基本部品であるリード(箆おさ)の輸出に力を入れている。くしのような細い隙間に縦糸を通して一定の間隔に整列させ、前後に動かしながら横糸を織り込んでいく。リードは織物の最終品質を左右する重要な役割を担う。海外ではジャンボリードの人気の高い。現在、世界で生産できるのは4社、日本企業では高山リードだけ。

タイ、台湾、マレーシア、中国と生産拠点を広げてきた。海外では計5か所の工場を子会社、合弁で運営。すべて現地の織物会社向けで、日本には輸入していない。一方で「メイド・イン・ジャパン」のリードの需要は依然として高い。アジアや欧米向けに国内生産分の8割近くを輸出。

リードの付加価値を高めることに力を入れ、省エネ型の織機に対応した製品を開発。職人の育成を通じて高い品質に磨きをかけ、海外からの受注拡大につなげる。

帝国データバンクの会社年鑑によると、22年3月期売上18億円、純利益96百万円、従業員59名。1人当りの純利益1,627千円。やはり高収益企業。



一口メモ
知識

包(つつみ)に魚(うお)あり

包に魚あり。咎(とが)なし。(天風姤てんぷうこう)

天風姤(てんぷうこう)の卦(か)は勢いが盛んな時にも陰が忍び寄ることを説き、禍(わざわい)の要因への対処法を教える。

たとえば、事業が好調な時は、「好事魔多し」で、うまい儲け話に乗って失敗しやすい。こういう時ほど、慎重に判断し、的確に対処すべきであるとする。

「魚」は禍の要因となる陰を表す。うまい話を受け容れたとしても、包むようにして、それ以上、大きく広げない。

つまり、外に影響を及ぼさない程度につきあう。そうであれば咎めは受けないといっている。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

